

製品名: Rab7 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00106**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,FC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 23 kDa; Observed MW: 23 kDa

抗原情報

遺伝子名	RAB7A
別名	RAB7; PRO2706
遺伝子 ID	7879
SwissProt ID	P51149
免疫原	ヒト RAB7 の合成ペプチド

背景

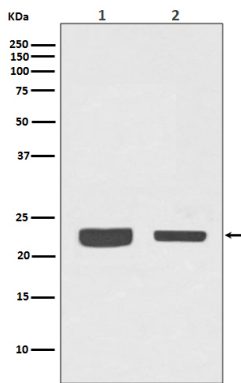
ファゴソームとリソソームの融合に関与する。微生物病原体の感染と生存、およびウイルスのライフサイクルへの関与において重要

な役割を果たす。微生物病原体は RAB7A によって制御される生存戦略を有しており、RAB7A の機能を利用する場合（例：サルモネラ）もあれば、RAB7A の機能を排除する場合もある。

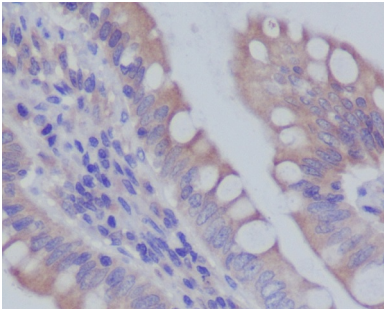
研究分野

タグとセルマーカー

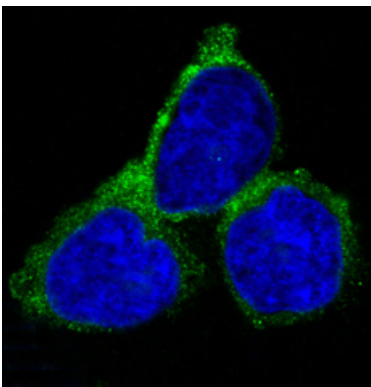
画像データ



(1) A375 溶解物、(2) 3T3 溶解物中の RAB7 抗体を用いたウエスタンブロット分析。



RAB7 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト結腸の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



RAB7 抗体を使用した HeLa 中の Rab7 の免疫蛍光分析。